

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区立九段幼稚園
所在地	千代田区三番町16

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

生活空間に溢れている様々な「音」に着目し、意識することで、普段気付かなかった新たな「音との出会い」を経験できると考えた。そこから「音」への興味関心を広げ、より「音」を身近に感じ、親しむことで、「音」を捉える感覚が豊かになり探究活動につながると考え本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

令和6年9月～令和7年3月まで
10月3回 11月3回 12月2回 1月3回 2月2回

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自然物（木の実、木の枝、葉、石、貝殻など）
廃材、カップ、ケース、ビニール袋、セロハンテープ、マジック、スズランテープなど

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

「いろんな音みーつけた！！」
・園庭を散策し、音がするものを見つけたり、音をつくったりすることを楽しむ。
・耳を澄まして、聞こえてくる音に気付いたり、他児の発見と一緒に耳を澄ましたりする。
「音をつくろう！」
・身近なモノ（廃材や自然物）を振ったり、叩いたり、こすったり、弾いたり、吹いたりして、いろいろな音を探したり、聞き分けたり、聞き比べたりする。
・廃材や自然物を組み合わせて自分のオリジナル楽器を作る。
・友達と自分が見つけた音を聞き合う。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

「いろんな音みつけた！！」

- ・講師の真似をして、石や木の枝を丸太に当てて音を鳴らす、枯れ葉を手で握ったり、足で踏んだりして音を鳴らす。
- ・右手に木の枝、左手に石を持ち、順番に丸太を叩いて、音を聞き比べる。
- ・滑り台やジャングルジムなどの鉄の部分に石や枝を当てると音が異なることや響くことに気づき、繰り返し試したり、違うところたたいた時と比べたりする。
- ・保育者は音を言葉で表してみるが、子どもは音そのものに集中し、言葉で表すのではなく、園庭の様々な場所に行ってどんな音がするか試し、音を見つけると、保育者や講師に知らせる。
- ・友達が見つけた音に興味をもち聞いたり、まねたり、自分が見つけた音を聞いてもらえた嬉しさを感じたりする。

「音をつくろう！」

- ・戸外で音探しをした経験を生かして、保育室内にある廃材や木の実など身近な物をたたく、振るなど様々な方法で物と関わり、音源に耳を近づけて、音をよく聞いたり大きさや素材により音が違うことに気付いたりする。保育者は、子どもの発見に共感しながら、一緒に試したり、音を聞いたりする。

<活動の様子>



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・感じたことや気付いたことをすぐに言葉にさせようとするのではなく、じっくり関わる姿に共感する関わりが大切である。
- ・日頃の遊びや活動が「音」探しにつながっていた。
- ・ここでの経験後、砂場で砂をシャベルで掘った時の「音」歩いた時の「音」など日頃何気なく聞き過ごしていることにも耳を傾け、試す姿が見られた。

以上